

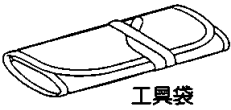
工具とジャッキ.....83
 バックしたときは.....84
 万一のときの処置.....87
 こんな故障の応急処置は.....89

工具とジャッキ

それぞれの格納場所、工具の種類、ジャッキの使い方などを確かめておきましょう。

■工具

工具は荷室左側のカバー内に格納されています。



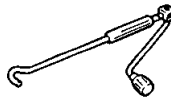
工具袋



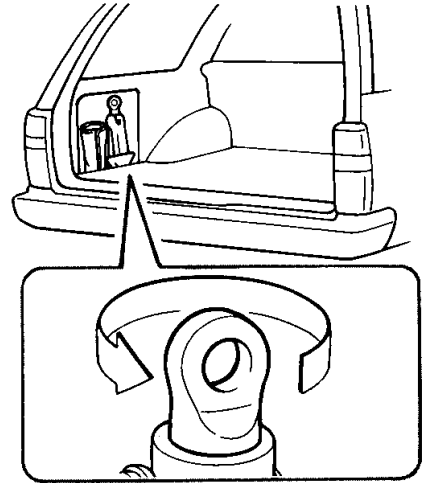
輪止め



ホイールナットレンチ

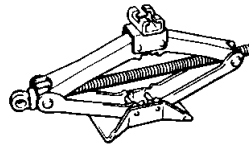


ジャッキハンドル

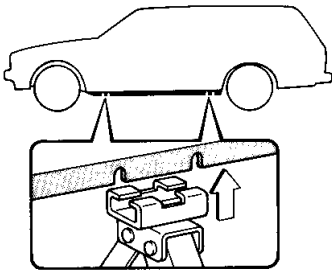


■ジャッキ

荷室左側のカバー内に格納されています。
 上図のように回すと取り出せます。

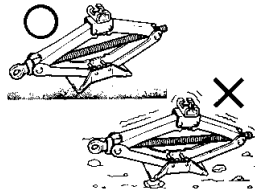


▶ ジャッキをセットする位置

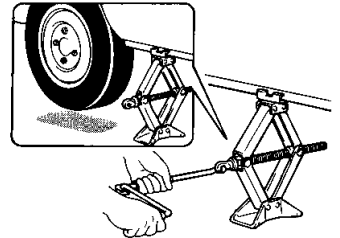


▶ ジャッキのかけ方

1. ジャッキを地面の平らな固くて安定できるところにセットします。



3. ジャッキが確実にジャッキセット位置にかかっていることを確認し、ジャッキハンドルを使用して、タイヤが地面から少し離れるまでジャッキアップします。



ちよつと一言

人や荷物を車からおろしてください。

2. ジャッキを手で回して、ジャッキセット位置まで上げます。



注意!


ジャッキアップしたら車の下には絶対もぐらないでください。万一、ジャッキがはずれると大変危険です。

万一のときの装置

この装置は、万一の故障時に、車を安全に持ち上げるためのものです。必ず、取扱説明書をよく読んでください。

パンクしたときは

①スペアタイヤ

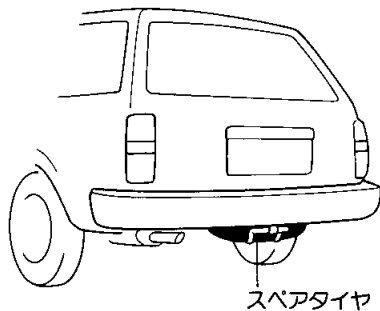


1.作業をするとき車体端部などでケが
しないように注意してください。
2.パンクした場合に、エアゾール製品の
補修剤を使用したときは、早めにパンク
修理してください。

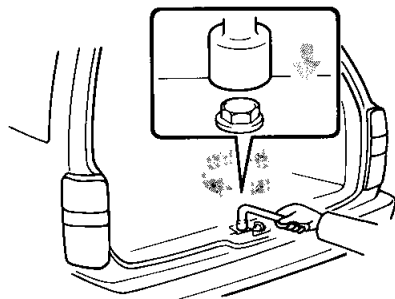
ちょっと一言

■格納場所

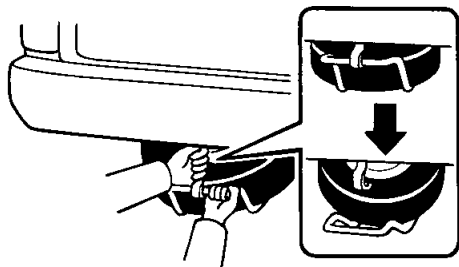
荷室床下部に格納してあります。



- 1.ホイールナットレンチで荷室内のボルトを十分ゆるめます。



- 2.スペアタイヤ格納具を少し持ち上げて、フックからはずします。



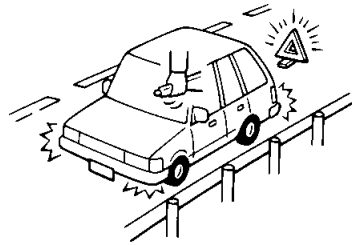
- 3.格納具を足の上などに落とさないように注意して、地面におろし、スペアタイヤを取り出します。
- 4.格納するときは逆の手順で行います。
なお、荷室内のボルトは十分締めつけてください。

パンクしたときは

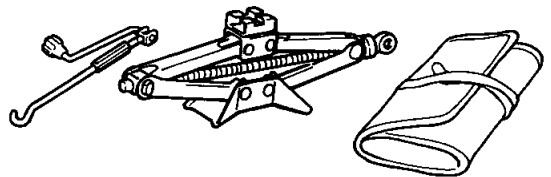
②タイヤ交換

■準備

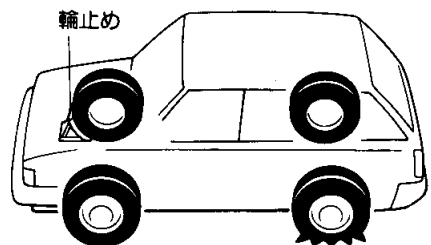
- 1.交通のじゃまにならず、安全に作業ができる平らな場所に車を止めます。
- 2.非常点滅灯を点滅させ、人や荷物をおろし、停止表示板(または停止表示灯)を使用します。




- 3.パーキング(駐車)ブレーキをかけます。
- 4.工具やジャッキを取り出します。



- 5.パンクしたタイヤと対角の位置にあるタイヤに輪止め(搭載工具に含まれています)をします。





前輪がパンクしたときは後輪のうしろ側、
後輪がパンクしたときは前輪の前側に輪
止めをしてください。
注意!

- 6.スペアタイヤを取り出します。
⇒「パンクしたときは——①スペアタイヤ」を参照してください。

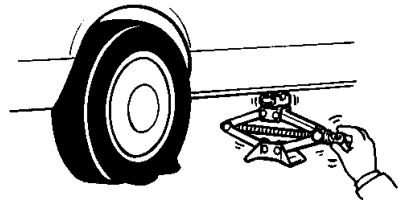
万一のときの処置

7. ホイールキャップ、センターオーナメントなどをはずします。ホイールナットレンチの柄の先を使うと楽にはずれます。直接手をかけて取ると指をケガすることがありますので注意してください。

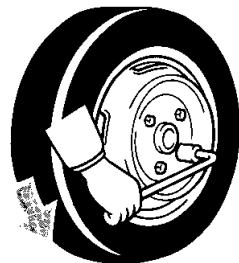


■ジャッキアップ

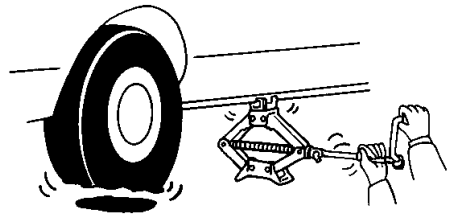
1. ジャッキをセットします。☞83ページの「ジャッキ」を参照してください。



2. ホイールナットレンチでナットを左に回し、手で回るくらいまでゆるめます。



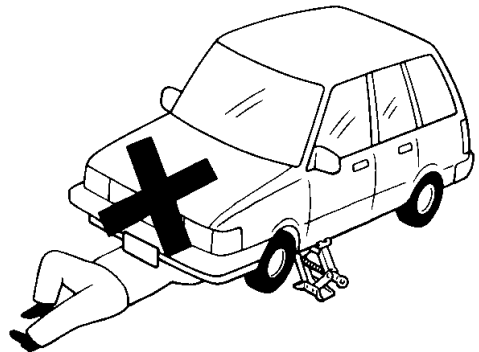
3. 車を、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。



注意!

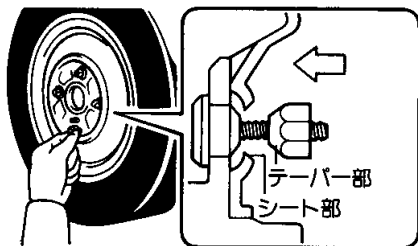
ジャッキアップしたら車の下には絶対もぐらないでください。万一、ジャッキがはずれると大変危険です。

万一のときの処置

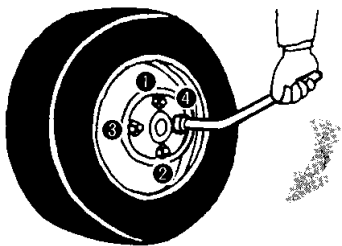


■タイヤ交換

1. ナットをはずし、タイヤを取り替えます。
2. ナットのテーパ部がホイール穴のシート部に軽く当たり、タイヤがガタつかない程度までナットを右に回して仮締めします。

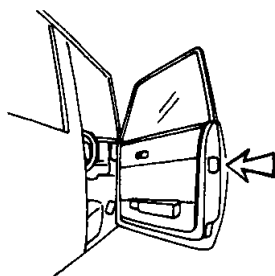


3. ジャッキを下げ、図の順序で2〜3度にわたり、レンチを使用して手で十分締めつけます。



レンチを足で踏んだり、パイプなどを使用して必要以上に締めつけないでください。

4. ホイールキャップ付き車は、タイヤのシルブ(空気口)にホイールキャップの穴をあわせて取りつけます。
5. 取りつけたタイヤの空気圧を確認します。(図に示す運転席ドアに貼られている「タイヤ空気圧」の表を参照してください。)



ちよつと一言

「タイヤ空気圧」表の中に示されているタイヤサイズは車種またはグレードにより装着できないものもあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。



注意!

1. 空気圧が不足している場合や調整ができないときは、ひかえめな速度で走行してください。
2. 空気圧が低いまま走行を続けると、高速走行時にタイヤが疲労しバースト(破裂)するおそれがあります。チューブレスタイヤの場合は、タイヤとリムの密着が悪くなり、空気が漏れやすくなります。

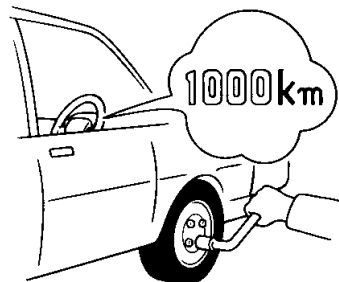
6. 工具、ジャッキ、タイヤを片づけます。

タイヤを格納するときは、確実に固定してください。



ちよつと一言

タイヤを脱着したときは、タイヤを取りつけて、1,000km走行後、再度ホイールナットを締めつけ、ゆるみがないことを点検してください。



注意!

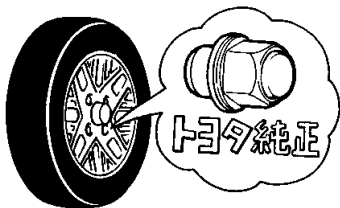
1. タイヤ交換後、走行中ハンドルや車体に振動が出た場合はタイヤのバランスの点検をトヨタ販売店で受けてください。
2. タイヤを新品と交換する場合は、トヨタ販売店で相談してください。異なった種類のタイヤを混ぜて使用したり、指定サイズ以外のタイヤを使用することは、車の安全走行に悪影響をおよぼしますので、絶対に避けてください。
3. スペアタイヤの空気圧の点検は、日頃から怠らないようにしてください。

■アルミホイールの取り扱い方

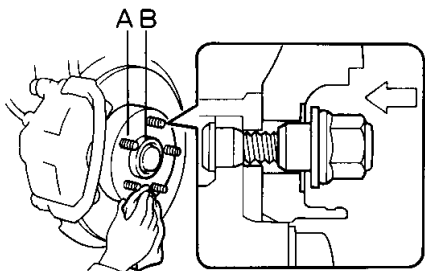
1. 取りはずしたホイールを直接地面に置くときは意匠面を上にして置いてください。



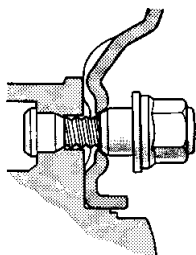
2. バランスウエイトおよびナットはトヨタ純正のアルミホイール専用部品をお使いください。



3. 傷、変形のあるアルミホイールは再使用しないでください。
4. アルミホイールを再び車両に取りつけるとき、図のA、BのよごれをきれいにふいてからBの部分を実際にはめ、ホイールボルトが取り付け穴の中心にくるようにして、ホイールナットの座金がホイールに当たるまで手で締めてください。さらに、レンチを使用して手で十分締めつけます。



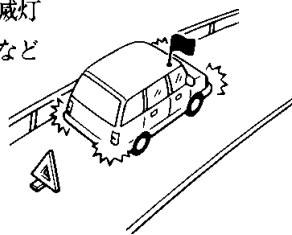
5. ホイールナットを締めすぎないように注意してください。
6. タイヤチェーンを装着すると、ホイールに傷をつけるおそれがあります。
7. スチールホイールを取りつける場合、ホイールナットは下図のように取りつけてください。



万一のときの処置

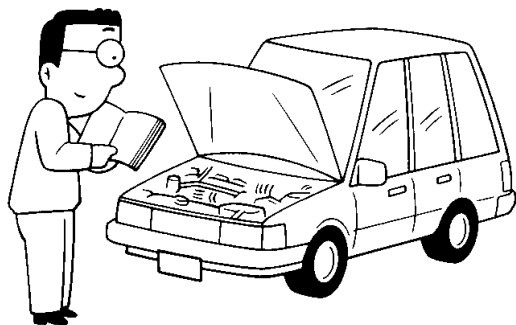
故障したら……

1. 車を路肩に寄せ非常点滅灯を点滅させるか、赤旗などを表示します。
2. 高速道路や自動車専用道路では、車両後方に停止表示板（または停止表示灯）を置いてください。法律で義務づけられています。



非常電話を利用する場合などは、安全な場所を歩くよう心がけてください。

- ▶ 困ったときはトヨタ販売店へご連絡ください。「整備手帳」巻末のトヨタサービス網をご覧ください。



走行中、エンジンが停止したときは…

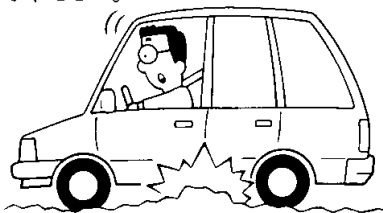
運転操作に変化が生じますので、次の方法で車を安全な場所に停止してください。

1. ブレーキブースター（ブレーキ倍力装置）が作用しなくなりますので、ブレーキペダルを強く踏んでください。
2. パワーステアリング（ハンドル操作力軽減装置）が働かなくなりますので、ハンドル操作が重くなります。ハンドルを強く操作してください。

万一のときの処置

走行中、車体床下に 強い衝撃を受けたときは……

ただちに車を止め、ブレーキ液の漏れや損傷を確認してください。損傷がひどい場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

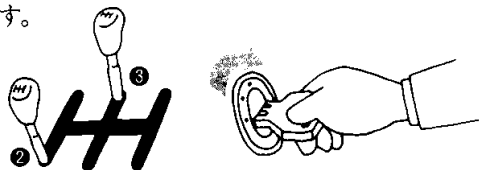


エンストして始動できなくなったときは…

1. 付近に人がいる場合は安全な場所まで押しもらってください。



2. マニュアルトランスミッション車はチェンジレバーの位置をセカンドまたはサードにいれ、クラッチを踏まずにエンジンスイッチをSTARTの位置で保持すれば、車を動かすことができます。また、平坦路の場合はトップにすると早く抜け出せます。



万一のときの処置



オートマチックトランスミッション車はエンジンスイッチで車を動かすことができません。

ちょっと一言

踏切内で動けなくなったときは……

脱輪などですぐ動かせない場合は、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。

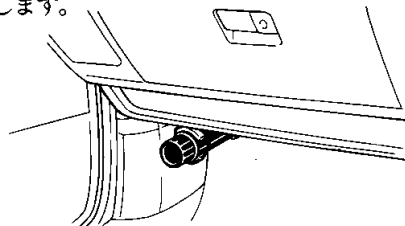


電車が来そうになったり、緊急を要する場合は発炎筒で合図してください。

ちょっと一言

発炎筒

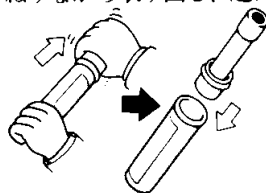
高速道路や踏切内などで、緊急を要するときに使います。



1. グローブボックス左下部に備えつけてあります。
2. 発炎時間は約5分間です。
3. 本体に表示してある有効期間のきれる前にトヨタ販売店でトヨタ純正ハイフレヤー(発炎筒)をお求めください。

▶ 使い方

1. 本体をひねりながら取り出し、逆にして差し込みます。



2. キャップ頭部のすり薬でこすると着火します。



キャップ頭部



注意!

1. お子さまにさわらせないでください。



2. 非常用信号としてのみご使用ください。
3. 使用中は筒先を顔や体に向けたり、近づけたりしないでください。やけどの危険があります。
4. 発炎時間は約5分ですので、非常点滅灯を併用するようにしてください。
5. ガソリンなど可燃物の近くでは火災をまねくおそれがありますので使用をさけてください。

こんな故障の応急処置は……

バッテリーあがりの処置は……

ブースターケーブル(別売)があれば、他車のバッテリーを電源としてエンジンを始動することができます。



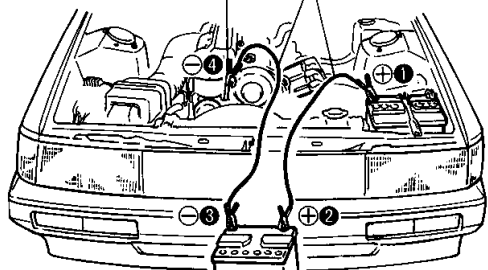
救援車は必ず12Vのバッテリーがついている車を使用してください。

1. ブースターケーブルを図の番号の順序に接続します。

⊕⊖を間違えないようご注意ください。

1G-FE、2Lエンジン搭載車

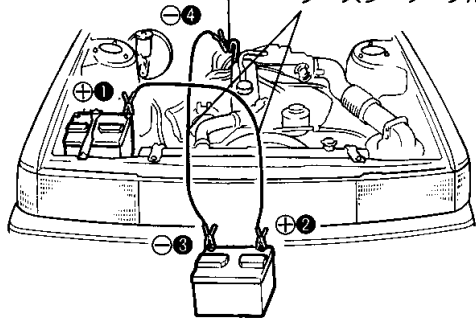
自車(バッテリー上がり車) エンジン本体へ(フックなど)
他車(救援車) ブースターケーブル



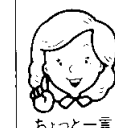
他車(救援車)

3Y-Eエンジン搭載車

自車(バッテリー上がり車) エンジン本体へ(フックなど)
他車(救援車) ブースターケーブル



他車(救援車)



- ①の接続は必ず自車(バッテリー上がり車)の⊕端子にしてください。
- ④の接続はバッテリーから離れたエンジン本体にしてください。バッテリーとバッテリーを直接接続すると、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

- 接続後、救援車のエンジン回転を少し高めにしておきます。
- 始動のしかたは□42ページの「エンジンのかけ方」を参照してください。
- 自車のエンジンが始動したら、取りつけたときと逆の順序でブースターケーブルを取りはずします。バッテリーはすぐにガソリンスタンドやトヨタ販売店で完全充電してください。

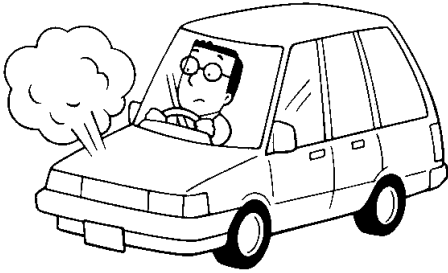


注意!

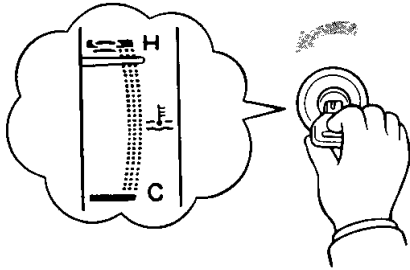
- 絶対に押しがけによる始動はやめてください。
- ケーブル接続の際には、⊕と⊖端子を絶対に接触させないでください。
- ケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように接続には十分注意してください。

オーバーヒートの処置は……

1. 安全な場所へ車を止めてください。



2. エンジンをかけたままで、ボンネットを開け、風通しをよくします。
3. 水温計の指針が下がってきたら、エンジンを止めます。



4. エンジンが十分に冷えてから、冷却水の有無、ラジエーターのコア部(放熱部)の著しいよごれ、ごみの付着の有無、Vベルトのゆるみを点検します。詳しくは整備手帳をご覧ください。



注意!

1. エンジンが熱いときは、ラジエーターや補助タンクのキャップをはずさないでください。蒸気や熱湯が吹き出して思わぬやけどをすることがあります。キャップを開けるときは、エンジンが十分に冷えてから布などでキャップを包みゆっくりと開けてください。
2. 冷却水は、エンジンが十分に冷えてからゆっくりといれてください。エンジンが熱いときに急に冷たい冷却水を入れるとエンジンを損傷するおそれがあります。

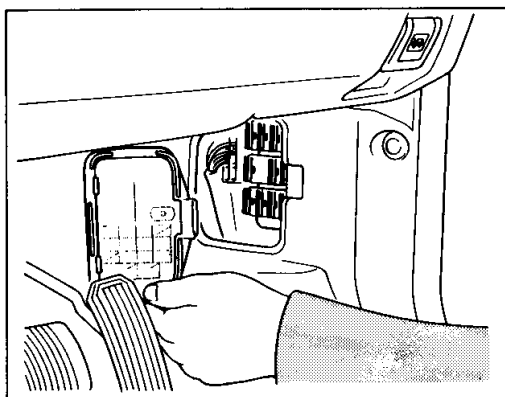
ヒューズが切れたときは……

各種のランプがつかないときや、電気系統の装置が働かないときは、ヒューズが切れているか、サーキットブレーカーが電流をしゃ断している場合があります。ヒューズボックスの位置、ヒューズの受け持つ装置を知って自分で処置できるようにしておく便利です。

■ヒューズボックスの位置

ヒューズボックスは、運転席足元とエンジンルーム内にあります。

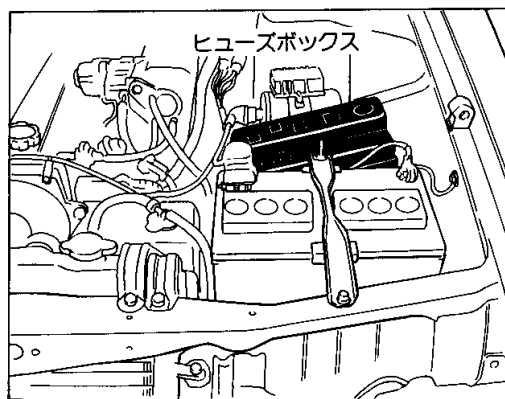
▶ 運転席足元ヒューズボックス



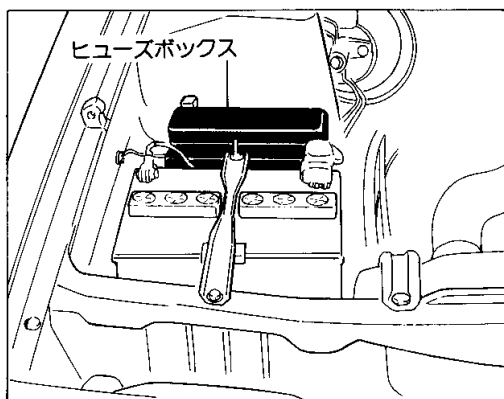
運転席足元のヒューズボックスの中には、ヒューズおよびサーキットブレーカーがあります。ヒューズおよびサーキットブレーカーの受け持っている装置は94ページを参照してください。

▶ エンジンルーム内ヒューズボックス

1G-FE、2Lエンジン搭載車



3Y-Eエンジン搭載車



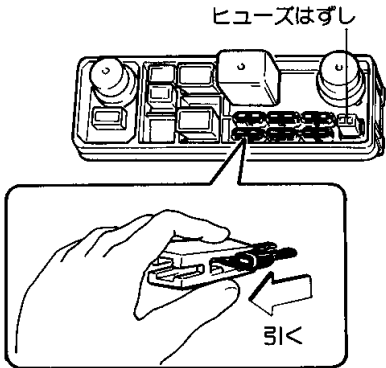
ちょっと一言

ヒーター、エアコンが作動しないときは
トヨタ販売店へご連絡ください。

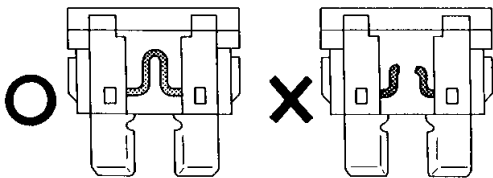
■ヒューズの交換

各ヒューズの受け持っている装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。そのときは次のように処置してください。

1. エンジンスイッチをLOCKの位置にします。
2. ヒューズにヒューズはずしを差し込んで引き抜きます。(ヒューズはずしは、エンジンルーム内ヒューズボックスについています。)



3. ヒューズが下図の右側のようにであれば、ヒューズ切れです。予備ヒューズと交換してください。

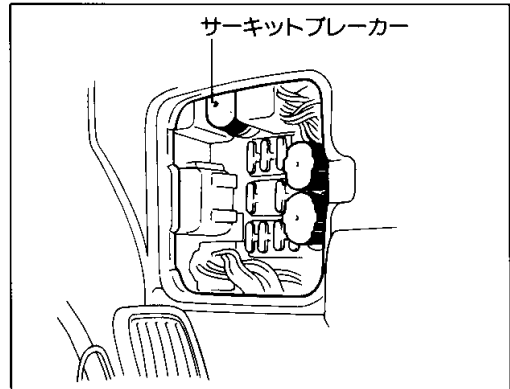


注意!

1. 取りつけてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金、銀紙などを使用すると電線の過熱焼損の原因になります。
2. 取り替えてもまたヒューズが切れる場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

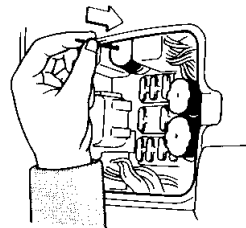
■サーキットブレーカー

サーキットブレーカーは、装置を保護するため、電流が流れすぎたとき、電流をしゃ断する装置です。



- ▶ リヤウインドウデフォグガー(曇り取り)、電磁式ドアロック、パワーウィンドウが作動しないときは、サーキットブレーカーの回路がしゃ断されている場合があります。

1. エンジンスイッチをLOCKの位置にします。
2. サーマイトブレーカーの穴に細い棒をカチッという音がする位置まで、軽く差し込みます。
3. これでサーキットブレーカーの回路が復帰します。



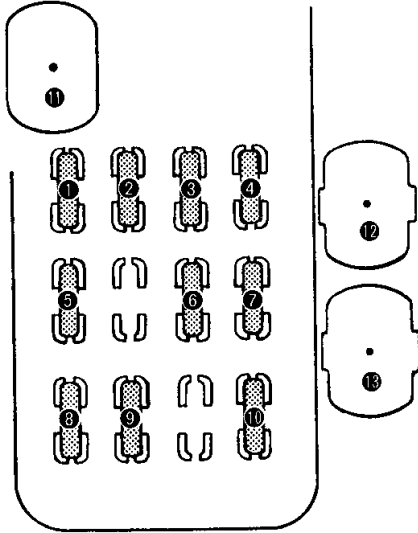
ちょっと一言

1. マッチ棒など折れやすい物は使用しないでください。
2. 以上の操作をしても、装備品が作動しないときや、サーキットブレーカーの回路が再び切れる場合は、すぐにトヨタ販売店で点検を受けてください。

万一のときの処置

ヒューズとサーキットブレーカーの受け持つ装置

■運転席足元ヒューズボックス



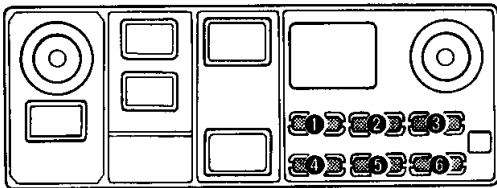
<ヒューズ>

①	ストップランプ	15A	制動灯
②	フォグランプ	15A	フォグランプ
③	ターン	7.5A	方向指示灯
④	イグニッション	7.5A	充電警告灯、 排気コンピューター
⑤	エレクトロニクスIG	15A	オルタネーター
⑥	ライト	15A	シガレットライター
⑦	ラジオ	7.5A	ラジオ、 電動リモコンミラー
⑧	ワイパ	20A	ワイパー & ウォッシャー
⑨	テールランプ	15A	尾灯、番号灯、車幅灯、計器照 明、ラジオ照明、ヒーター照 明、シガレットライター照明、グ ロープボックスランプ、チェン ジレバー位置表示
⑩	メータ	7.5A	警告灯類、計器、後退灯、 オーバードライブ

<サーキットブレーカー>

⑪	リヤウインドウデフォグー(曇り取り)
⑫	電磁式ドアロック
⑬	パワーウインドウ

■エンジンルーム内ヒューズボックス



<ヒューズ>

①	オルタネータS	7.5A	オルタネーター
②	ヘッドランプ(左)	15A	ヘッドランプ (左側)
③	ヘッドランプ(右)	15A	ヘッドランプ (右側)
④	ルームランプ	10A	室内灯、時計、半ドア警告灯、 パーソナルランプ、エンジンキ ー照明
⑤	ハザード・ホーン	15A	警音器、非常点滅灯
⑥	EFI	15A	エンジンコントロールコンピ ューター

万一のときの処置



予備ヒューズはヒューズボックスの
カバーに取り付けられています。

ちよつと言

ヒューズ、サーキットブレーカーは車の仕様によりない場合があります。

ランプ類が点灯しないときは……



ちょっと一言

1. ランプ類が点灯しないときは、ヒューズ切れの他、ランプ自体の球切れが考えられます。
電球の交換は、右の各規格にあわせて、同容量のものにしてください。
2. ハロゲンランプ（ヨウ素入り電球）は使用時電球が高温になるため、表面に油などが付着すると寿命が短くなります。
電球交換時に、手などがガラスに触れないように注意してください。
3. ランプ類はすべて12V用をご使用ください。

■フロント側電球



注意！

ハロゲン電球はガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、傷をつけたりと破損してガラスが飛び散る場合がありますので十分注意して取り扱ってください。また、素手で触れずにきれいな手袋を着用してください。

▶ヘッドランプ

ハロゲン ……………60/55W

▶フォグランプ

グランデエ디션、LG

ハロゲン……………55W

▶車幅灯……………5W

▶フロント方向指示灯(兼非常点滅灯) ……21W

▶サイド方向指示灯(兼非常点滅灯)…………5W

■リヤ側電球

▶方向指示灯(兼非常点滅灯) ……………21W

▶制動灯/尾灯 ……………21/5W

▶後退灯……………21W

▶番号灯

グランデエ디션、LG、GL ……………5W

DX ……………7.5W

▶バルブ式ハイマウントストップランプ……27W

■室内電球

▶室内灯……………10W

▶パーソナルランプ……………8W

▶バックドア灯……………10W

▶グローブボックスランプ ……………1.4W



注意！

- 同容量の電球以外を使用すると、過熱などによる故障の原因となる場合がありますので、必ず同容量のものを使用してください。
- 電球および電球固定具の取り付けが不完全な場合、水入りなどによる故障およびレンズ内面のくもりの原因となる場合がありますので、取り付けは確実に行ってください。
詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。